

お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品のご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

お客様ご相談センター



0120-345135

※携帯・PHSからもご利用になれます。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

- 一部のIP電話など、フリーダイヤルがご利用いただけない電話でのお問い合わせ
.....TEL (06)6356-2451(有料)
 - FAXでのお問い合わせ.....FAX (06)6356-6143(有料)
- 製品の「品番・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・FAX番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

〒530-0043 大阪市北区天満1丁目19番9号

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

ホームページのご案内

部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ <http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

象印マホービン株式会社



家庭用

取扱説明書

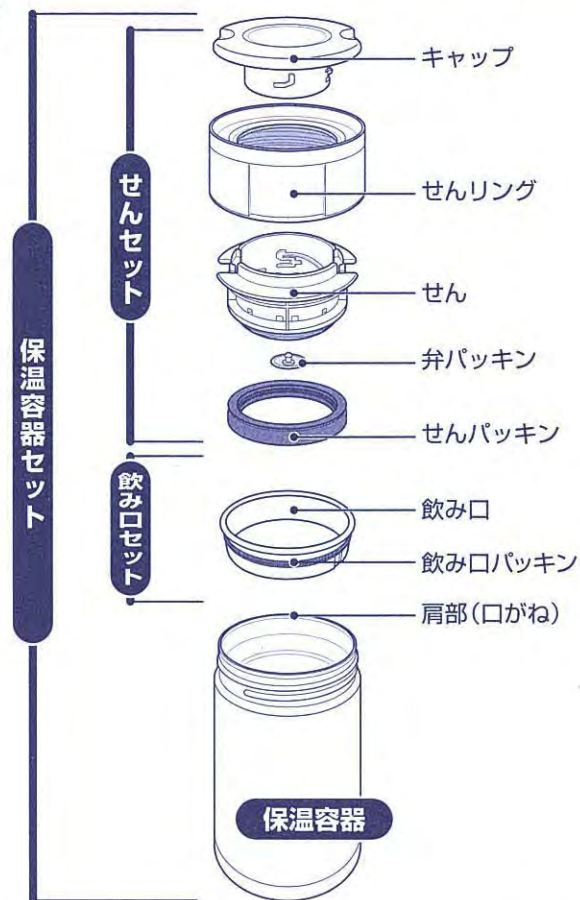
ステンレスフードジャー SW-HB 型

ご使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは大切に保管してください。

●ご使用ごとに各部品が取りつけられていることをご確認ください。

各部のなまえ



●お買い上げの商品とこの取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

SW-HB / A

必ずお守りください

●ご使用になるときは、やけどや飲食物の変質・変色や製品の故障・汚れを防ぐために次のことは必ずお守りください。

乳幼児には使用させない。また、乳幼児の手の届くところには置かないやけどやけがなど危険です。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない
変形や変色の原因になります。

直射日光のあたる場所には長時間放置しない
変色する原因になります。

改造や分解修理はしない
故障や事故の原因になります。

製品の横置きはしない
飲食物が漏れる原因になります。

保温性能が低下した製品は使用しない
熱い飲食物を入れると保温容器外側が熱くなり、やけどの恐れがあります。

飲食物の量は図の位置までにする
入れすぎてせんセットを閉めると、飲食物があふれる原因になります。また、あとから漏れ出すことがあります。

飲食物の位置



保温容器外側の底に貼っている底シールは絶対にはがさない
さびや穴あきなど故障の原因になります。



乳製品を含む飲食物や冷製スープは、必ず一度加熱調理をしたものを入れる
腐敗することがあります。

熱い飲食物を入れた場合

- 保温容器を振らない
やけどやけがなど危険です。
- 使用する際にやけどの恐れがあるので注意する
断熱効果により、熱い飲食物を入れても保温容器外側は熱くなりません。
- せんセットのキャップはつけたまま使用する
せんセット内側が熱くなっており、やけどやけがなど危険です。

せんセットは確実に閉めて使用する
飲食物が漏れて、やけどをしたり衣服を汚す恐れがあります。

キャップ・せんリング・せん・弁パッキン・せんパッキン・飲み口・飲み口パッキンは必ずつけた状態で使用する
漏れてやけどなどの恐れがあります。また、汚れの原因になります。

自動車走行中は使用しない

やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因になります。また運転者の場合、運転への注意が散漫となり、非常に危険です。

保温容器を電子レンジで加熱しない
火花が飛び危険です。また、変形や変色の原因になります。

飲食物の保温・保冷以外に使用しない
飲食物を入れての保温や保冷を目的としたものです。

飲食物は、できるだけ早く(6時間以内)食べる。このとき、飲食物は一度に食べきる腐敗の原因になります。

保温容器には次の物は絶対に入れない

- ドライアイス・炭酸飲料など
保温容器内の圧力が上がり、飲食物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。
- 生もの(加熱していない肉・魚介類・乳製品・卵)など腐敗しやすいもの
成分が腐敗することがあります。そのまま長く放置した場合は腐敗によりガスが発生し、保温容器内の圧力が上がり、飲食物がふき出たり、せんセットが破損して飛散することがあり危険です。

保温容器にサラダや果物を入れる場合は下記の注意点を必ずお守りください。

- サラダや果物は、購入したばかりの新鮮なものを使用し、使用する前に流水で十分洗浄する
- 調理前の手洗いは十分に行う
- 肉や魚などを使った包丁・まな板は使用しない。使用する場合は殺菌処理してから使用する
- サラダや果物をカットし、冷蔵庫で十分冷やしてから保温容器に入れる

長時間の保温・保冷は避け、使用したあとはすぐに保温容器・せんリング・せん・弁パッキン・せんパッキン・飲み口・飲み口パッキンをよく洗う
外出時など十分なお手入れができないときでも、使用したあとはすぐに保温容器内側を水でよくすすぐ

- 保温容器はステンレスですが、みそ汁・スープ・スポーツ飲料などの塩分により、さびたり、保温・保冷性能が低下する原因になります。
- 腐敗によりガスが発生し、保温容器内の圧力が上がり、せんセットをはずすときにせんセットが飛んだり、飲食物がふき出たり、せんセットなどが破損して飛散することがあり危険です。
- 腐敗・カビ発生・におい移り・変色の原因になります。また飲食物が漏れる原因になります。

お手入れの際は次のことを守る

- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しない 製品を損傷する原因になります。
- 塩素系漂白剤は使用しない
さびや穴あき(保温容器内側)など故障の原因になります。
- 煮沸はしない。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しない
傷やさび・変形など故障の原因になります。
- 丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしない

ご注意とお願い

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えない

樹脂部分が破損したり、ステンレス表面がへこみ、保温・保冷性能が低下することがあります。

熱いやかんを飲み口や肩部（口がね）に触れさせない

転倒してやけどなどの危険があります。また傷や変形の原因になります。

保温容器の絵柄をつめや固いものでひっかいたり、こすったりしない
はがれる原因になります。

缶やびんなどを保温容器に入れない
変形し、故障の原因になります。

製品専用の部品以外は取り付けない
漏れや故障の原因になります。

においの強いものや色素の濃いおかず類など（カレー・キムチ・たくあんや、しそ・ほうれん草・にんじんなどの有色野菜）を入れると、におい移りおよびせんセットが変色することがあります。
使用したあとは、すぐにお手入れをしてください。
（付着した色素は水洗いしても完全には取れませんが、使用上差し支えありません。）

- せんセットの上に直接、物を置かないでください。せんセットから熱が伝わり、物があたたまる原因になります。
- 保温容器を立てた状態で、せんセットを開閉してください。
- バッグなどに入れるときは、万一の漏れを防ぐために、製品を縦に置いてください。



熱い飲食物を入れた場合、保温容器内の圧力が上がり、せんセットをはずす際に固くなる場合があります。そのときは、キャップをはずし、せん中央部の穴をつまようじのうしろなど先のとがっていない棒で弁パッキンを破らないようにつき、内圧を抜いてください。〈右図参照〉

せん中央部
穴
(2カ所)



洗浄したせんセットは、分解した状態で水が残らないよう数回振り、ふき取る
キャップ・せんリング・せんの間水が残っていることがあり、残ったしずくが漏れてくる場合があります。
(分解方法P.7参照)

氷が大きくて入らない場合は、あらかじめ小さく砕いてから入れる
無理やり押し込んだり、たたいたりすると、変形し、故障の原因になります。

せんセットや飲み口セットを持って運ばない
落とすと危険です。

飲食物を飲むときは、保温容器を急に傾けない
こぼれてやけどなど危険です。また衣服を汚す原因になります。

使い方

●ご使用前にせんセット・飲み口セット・保温容器内側をぬるま湯で十分に洗ってください。

1 保温容器からせんセットをはずす

せんリングを矢印の方向に回し、はずしてください。

キャップも一緒に回すと、キャップが浮き上がってはずれることがあります。



2 予熱（予冷）する

- ①保温（保冷）効果をあげるために、あらかじめ保温容器に熱湯（冷水）を入れ、1～2分温める（冷やす）
- ②予熱（予冷）後はその湯（冷水）を捨て、水気をふき取る

3 保温容器に飲食物を入れる

- 飲食物を入れすぎて、せんセットを開めるとあふれたり、あとから漏れ出すことがあります。飲食物の量は、必ず図の位置までにしてください。
- A部に飲食物がついている場合は、きれいにふき取ってください。
（せんセットを閉めた場合に、飲食物が漏れる原因になります。）
- 十分に熱い（冷たい）飲食物を入れてください。



4 せんセットを閉める

せんリングを矢印の方向に回し、閉めてください。

- キャップ・弁パッキン・せんパッキンが正しく取り付けられていることを確認の上、ご使用ください。（飲食物が漏れる原因になります。）
- せんセットは、保温容器を立てた状態で確実に閉めてください。
- 保温容器を逆さにして漏れないことを確認してください。漏れた場合は「P.6 Q&A」参照
- せんセットのキャップは、必ずつけた状態でご使用ください。



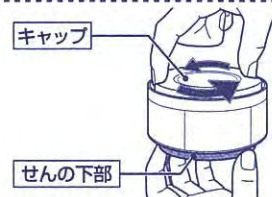
症状	原因	処置
飲み口セットや せんセットから 飲食物が漏れる	弁パッキン・せんパッキン・飲み口 パッキンが正しく、しっかり取り つけられていますか？	弁パッキン・せんパッキン・飲み口 パッキンの取り付け位置や方向、 浮きがないことを確認してください。 (P.8,9参照)
	せんリング・せん・弁パッキン・ せんパッキン・飲み口・飲み口 パッキンが汚れていませんか？	お手入れをしてください。 (P.10,11参照)
	飲食物を入れすぎていませんか？	少量の飲食物を捨ててください。 (P.2 飲食物の位置 参照)
	キャップ・せんリング・せんの中に 洗浄時の水がたまっていませんか？	分解した状態で水が残らないよう 数回振り、ふき取ってください。
飲食物(保温容器内側・ せんセット・飲み口セット) がにおう	飲食物を長時間入れたままにしたり、 保温容器内側、せんセットや 飲み口セットに汚れなどが付着して いませんか？	お手入れをしてください。 汚れが落ちにくい場合はピカボトル をご利用ください。(P.10,11参照)
保温(保冷)が 効かない	十分に熱い(冷たい)飲食物を入れて いますか？	十分に熱い(冷たい)飲食物を正しい量 まで入れてください。 (P.5 飲食物の位置 参照)
	予熱(予冷)していますか？	予熱(予冷)してください。 (P.5『使い方』参照)
製品を振ると 「シャカシャカ」 という音がする	保温/保冷効果を高めるために、保温容器内部に入れている銅箔(アルミ箔) がこすれて出る音です。異常ではありません。	

分解方法(組立方法はP.8参照)

① せんセットを保温容器からはずす

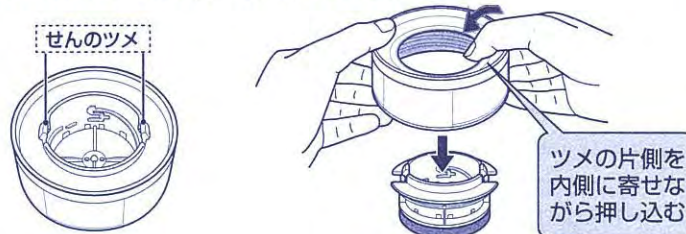
② 図のようにせんの下部をしっかりと 押さえてキャップを回して 取りはずしてください

保温容器に取りつけた状態でも、キャップを
取りはずすことができます。



③ せんをはずす

せんのツメの片側を中心に向かって押さえてはずします。



④ 弁パッキンを取りはずす

弁パッキンは、せんの中央についています。
はずすときは、図のように弁パッキンを
つまみはずしてください。

●せんセットは断熱構造のため、空間を
設けていますので、キャップをはずし、
内部もお手入れしてください。

弁パッキンを取りはずす時は、
つめの先などで破らないよう
ご注意ください。



⑤ せんパッキンを取りはずす

せんパッキン

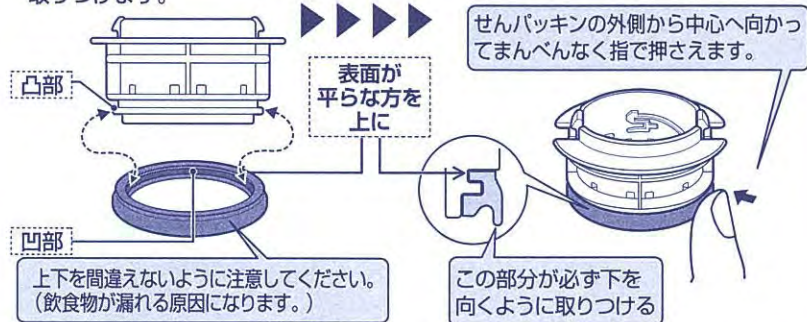


■せんセット

組立方法(分解方法はP.7参照)

1 せんパッキンを取りつける

せんパッキンの凹部とせんの凸部を合わせ、周囲から押し込むようにして取りつけます。



2 弁パッキンを取りつける

図のように弁パッキンの凸部をせん中央の穴に奥まで確実に押し込んで取りつけます。

●正しく取り付けないと飲食物が漏れる原因になります。

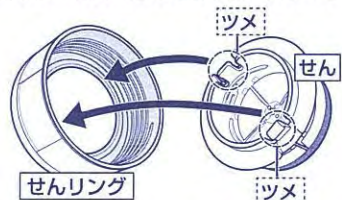
※実際には穴は3つあります。
中央の穴に取りつけてください。



3 せんをせんリングに取りつける

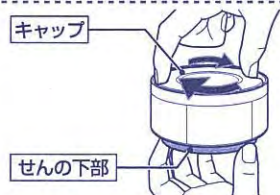
せんのツメ(2カ所)をせんリングに押し込み、取りつけます。

●このとき、両方のツメが確実にかかっていることを確認してください。



4 キャップを取りつける

図のようにせんの下部をしっかり押さえてキャップを回し、カチッと音がするまで確実に閉めてください。



■飲み口セット

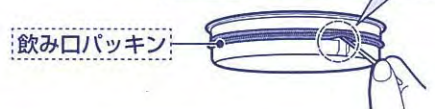
分解方法

1 飲み口セットを図のように保温容器からはずす



2 飲み口パッキンをつまようじなどを使って取りはずす

パッキンを傷つけないように注意してください。



組立方法

1 飲み口パッキンの凸部が外側になるように、飲み口の溝に確実に取りつける



2 飲み口セットを少し回しながら保温容器に確実に押し込む



- パッキンを取りつけ後、ねじれたり、ふくれた箇所のある場合は指先で均等になるよう正しく直してください。
- 飲み口パッキンおよび飲み口セットを正しく取り付けないと、くちびるや手をはさむことがあります。危険です。また、せんセットが開まりきらず、飲食物が漏れる原因になります。

お手入れ

●においや汚れの付着、カビ発生を防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

●必ず分解してからお手入れをしてください。(P.7～9参照)

保温容器セット

- ①ぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗う。
- ②すすぎ洗いのあと、数回振り、水気をふいてよく乾燥させる。
- せんセット・飲み口セットは、弁パッキン・せんパッキン・飲み口パッキンをはずしてから洗ってください。
- せんセット・飲み口セットはすべて分解した状態で乾燥させてください。
- お手入れ時、せんセット・飲み口セットを分解したあとは、元どおりに正しく組み立ててください。(P.8,9「組立方法」参照)
飲食物が漏れる原因になります。

お手入れ時の注意

- 煮沸はしないでください。また食器洗い乾燥機や食器乾燥器などは使用しないでください。
- 保温容器外側は、漂白剤を使用しないでください。



保温容器の塗装、印刷、シールがはがれる原因になります。

- 長期間ご使用にならない場合は、ぬるま湯か水で十分洗い、よく乾燥させて高温・多湿を避け保管してください。製品を損傷する原因になります。
- シンナーやベンジン・金属たわし・研磨材入りたわし・みがき粉・クレンザーなどは、使用しないでください。
- 塩素系漂白剤を使用しないでください。
- 丸洗いができますが、つけ洗い(水中に放置)はしないでください。
- 保温容器を丸洗いたあとは、必ず水分をふき取るようにしてください。水滴のあとやさびが発生する原因になります。
- キャップ・せんリング・せんの間たまっている水は、必ずふき取るようにしてください。

赤さび状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより保温容器内側に赤さび状の斑点が出たり水アカが付着することがあります。このような場合は、食酢を約10%加えた湯を入れ、せんセットを取りつけずに30分～1時間置いたあと、保温容器内側をよく洗ってください。(上記「お手入れ」参照)

においがついた場合の処置

長時間、汚れたままで置いたり洗い方が不十分な場合、いやなにおいが発生したり、樹脂が変色します。においがついてしまった場合は、次のように処置してください。

保温容器・キャップ・せんリング・せん・飲み口

十分に洗ったあと、水気をふき取り風通しの良い場所に置き、日光で1～2時間乾燥させる。においが落ちにくい場合はピカボトルをご利用ください。(下記参照)


弁パッキン・せんパッキン・飲み口パッキン

食酢を約10%加えた湯の中に入れ10分間煮沸し、すすぎ洗いのあと水気をよくふいて乾燥させる。

部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有料)してください。
- お買い求めの際には、製品の品番をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお願いします。(ホームページでのご購入は「P.12 お客様ご相談窓口」参照)

部品名	部品番号
せんセット	S75-〇〇
弁パッキン	BB412006M-00
せんパッキン	BB493001M-00
飲み口セット(飲み口・飲み口パッキン)	BB493801L-01
飲み口パッキン	BB493003M-00
ステンレスボトル用洗浄剤 ピカボトル(10g×4包入り)	SB-ZA01-J

〇〇表示は部品色柄記号です。お求めの際は製品の色柄記号までご指定願います。(底面シールに表示)
<表示例>
SW-HB45-+色柄記号

- 弁パッキン・せんパッキン・飲み口セット(飲み口・飲み口パッキン)は消耗品です。1年を目安にご確認ください。
- せんなどの樹脂は、食品衛生上安全な材料を使用していますが、ガラガラしてきたり、損傷してきた場合は新しい部品に交換(有料)してください。